

# 東京都における COVID-19流行状況

2023年7月11日

東京都医師会記者会見

東京都医師会副会長 蓮沼 剛

# 定点把握による都道府県ごとの感染状況

2023年7月7日厚生労働省健康局結核感染症課発表資料

6月26日～7月2日までの1週間に確認された1医療機関あたりの感染者数の平均値

## • 全国平均：7.42

• 沖縄県	：	48.39	• 山梨県	：	8.05
• 鹿児島県	：	13.48	• 奈良県	：	7.89
• 千葉県	：	9.89	• 茨城県	：	7.52
• 宮崎県	：	9.66	• 和歌山県	：	7.33
• 熊本県	：	9.58	• 埼玉県	：	7.25
• 佐賀県	：	9.44	• 福岡県	：	7.21
• 愛知県	：	9.16	• 石川県	：	6.94
• 岐阜県	：	8.46	• 広島県	：	6.88
			• 東京都	：	6.85 (17位)

# 第9波に入った？

2023年6月19日～6月25日と6月26日～7月2日の比較

• 沖縄県	: 39.48人	→48.39人	(1.23倍)
• ⋮			
• 千葉県	: 7.77人	→9.89人	(1.27倍)
• 山梨県	: 6.61人	→8.05人	(1.22倍)
• 茨城県	: 6.48人	→7.52人	(1.26倍)
• 埼玉県	: 7.18人	→7.25人	(1.01倍)
• 東京都	: 6.22人	→6.85人	(1.10倍)
• 神奈川県	: 6.07人	→6.30人	(1.04倍)
• 栃木県	: 3.96人	→5.43人	(1.37倍)
• 新潟県	: 4.14人	→4.98人	(1.20倍)
• 群馬県	: 3.85人	→4.45人	(1.16倍)

# インフルエンザに関する東京都の主な対策・情報提供

## 注意報・警報基準到達時における都民への注意喚起

都内における流行状況が注意報・警報基準に達した場合には報道発表を行っています。

- 注意報基準：定点医療機関からの報告において、  
定点当たり患者報告数が10人／週を超えた場合
- 警報基準：定点医療機関からの報告において、  
定点当たり患者報告数が30人／週を超えた場合

いずれの場合も、保健所の管内人口の合計が、東京都の人口全体の30%を超えた場合には、広域的に流行が発生・継続しているとして注意報・警報を発します。

# モニタリング分析【令和5年7月6日 公表】

モニタリング項目		今週	前週
※①は7日間の合計、②③は7日間移動平均で算出 ※⑤は上位3つの変異株の割合を抽出		(令和5年7月6日 公表)	(令和5年6月29日 公表)
感染動向	① 定点医療機関当たり患者報告数 【定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数】	6.85人/定点 (第26週 (6/26-7/2))	6.22人/定点 (第25週 (6/19-6/25))
	② #7119(※1)における発熱等相談件数 【7日間移動平均】	111.6件 (7/5)	108.1件 (6/28)
医療提供体制 への負荷	③ 救急医療の東京ルール <sup>(※2)</sup> の適用件数 【7日間移動平均】	102.7件 (7/5)	81.1件 (6/28)
	④ 入院患者数 【入院患者の総数】	1,089人 (7/3)	1,031人 (6/26)
変異株監視	⑤ 病原体サーベイランス (ゲノム解析) 【都内検体の直近のゲノム解析結果】	XBB.1.16 (6/12-6/18)	33.6% (6/5-6/11)
		XBB.1.9.1 (6/12-6/18)	20.0% (6/5-6/11)
		XBB.1.5 (6/12-6/18)	12.7% (6/5-6/11)
【参考】VRSデータによる都民のワクチン接種状況 令和5年春開始接種（令和5年5月8日開始）高齢者（65歳以上）		46.2% (7/2)	

## 専門家による分析

■ 定点医療機関当たり患者報告数は、緩やかに増加している。特に、重症化リスクの高い60歳以上の患者報告数はこれまで横ばいだったが増加した。今後の動向に十分な注意が必要である。

■ 東京ルールの適用件数は救急要請件数の増加に伴い増加している。

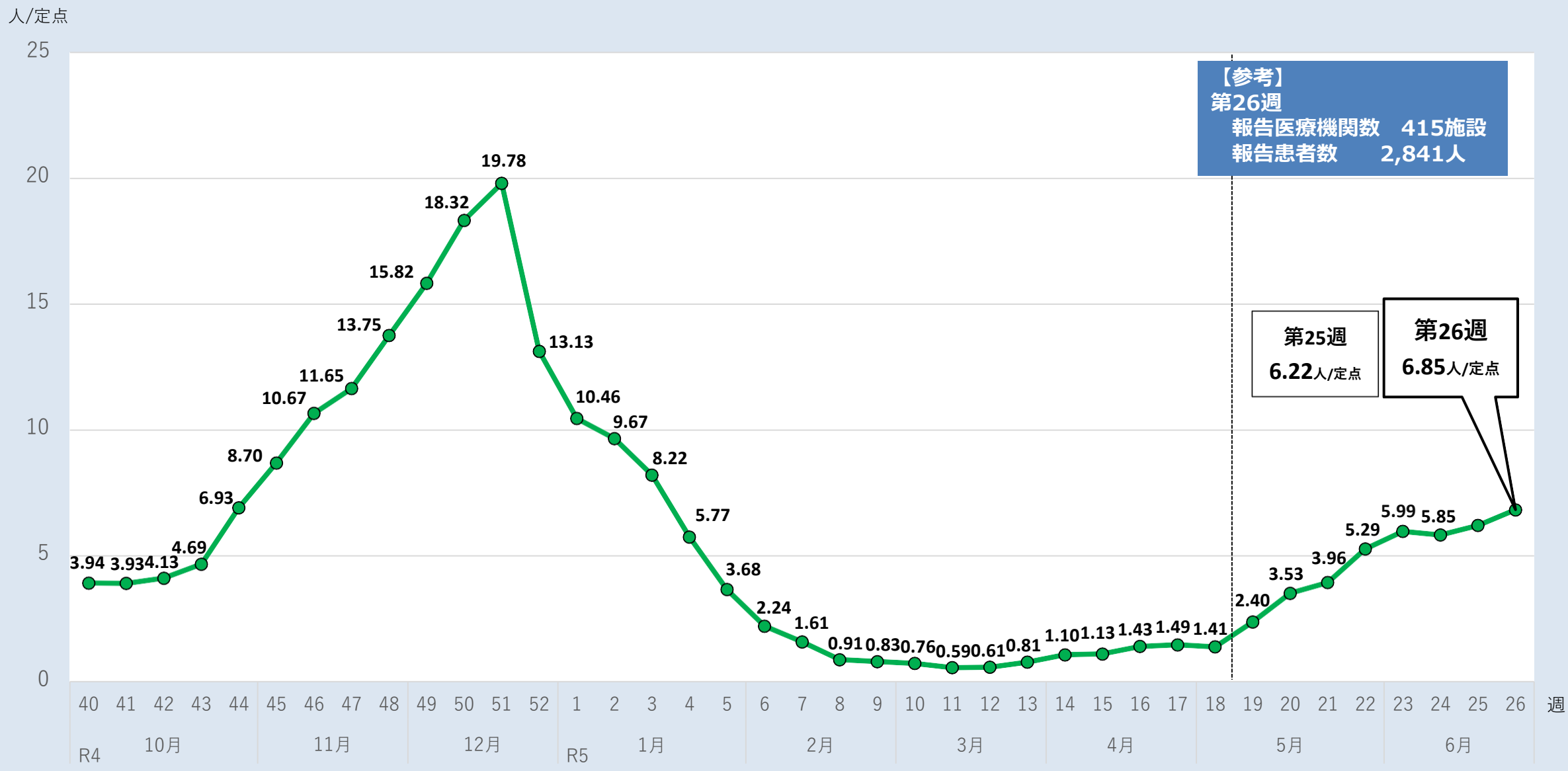
■ 入院患者数は、ほぼ横ばいである。地域や診療科によっては、他の熱性疾患等の受診者も増加してきている。受診を迷った場合は、東京都新型コロナ相談センター、#7119、小児救急相談（#8000）に相談できることを都民に周知する必要がある。

■ 周囲の状況等に応じて、換気、手洗い、場面に応じたマスク着用などの感染防止対策を心がけることが望ましい。

■ 特に重症化リスクの高い高齢者等は、早めのワクチン接種を検討することが望ましい。

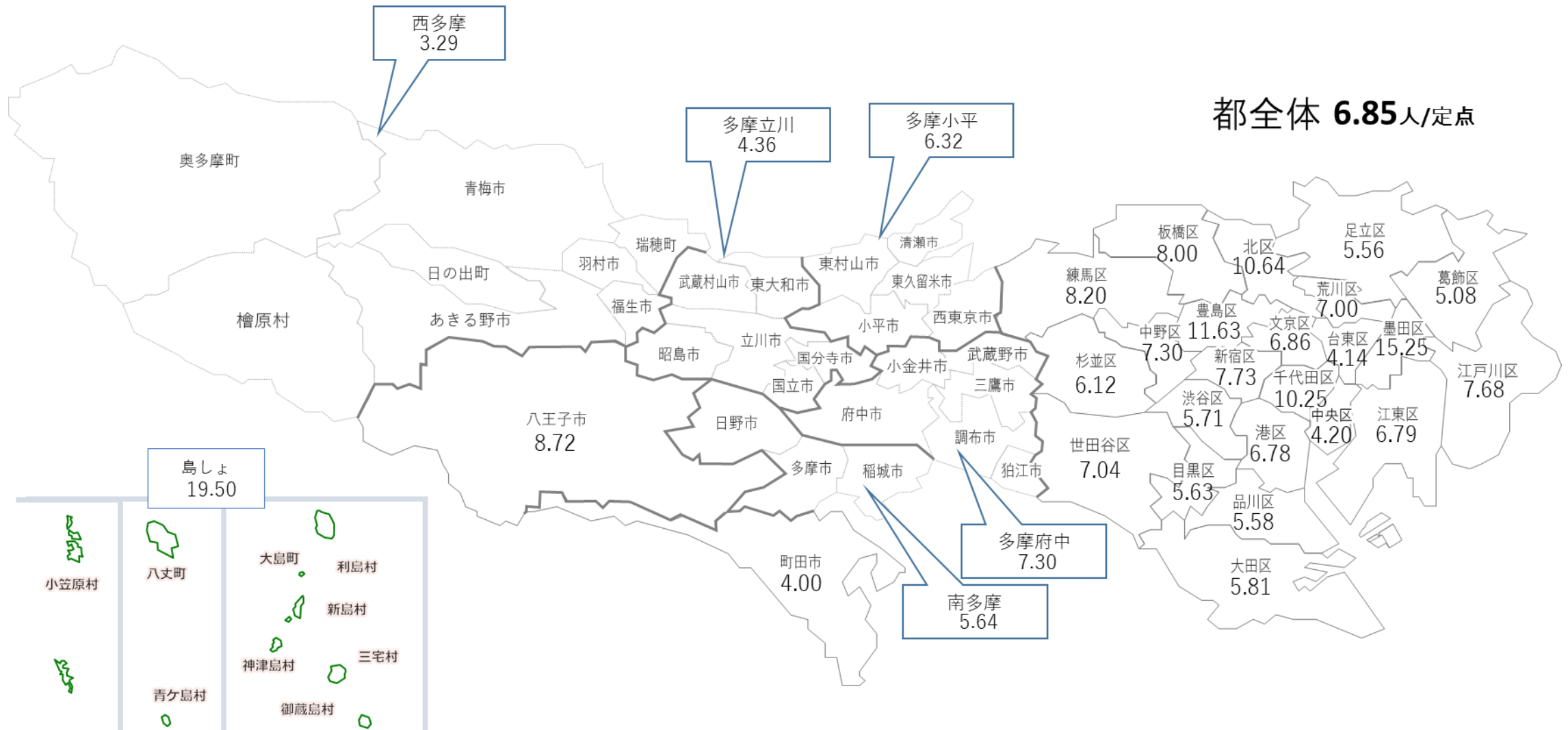
※1 東京消防庁救急相談センター。急病やけがの際に、緊急受診の必要性や診察可能な医療機関をアドバイスする電話相談窓口  
 ※2 救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案

# ①-1 定点医療機関当たり患者報告数



(注) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある

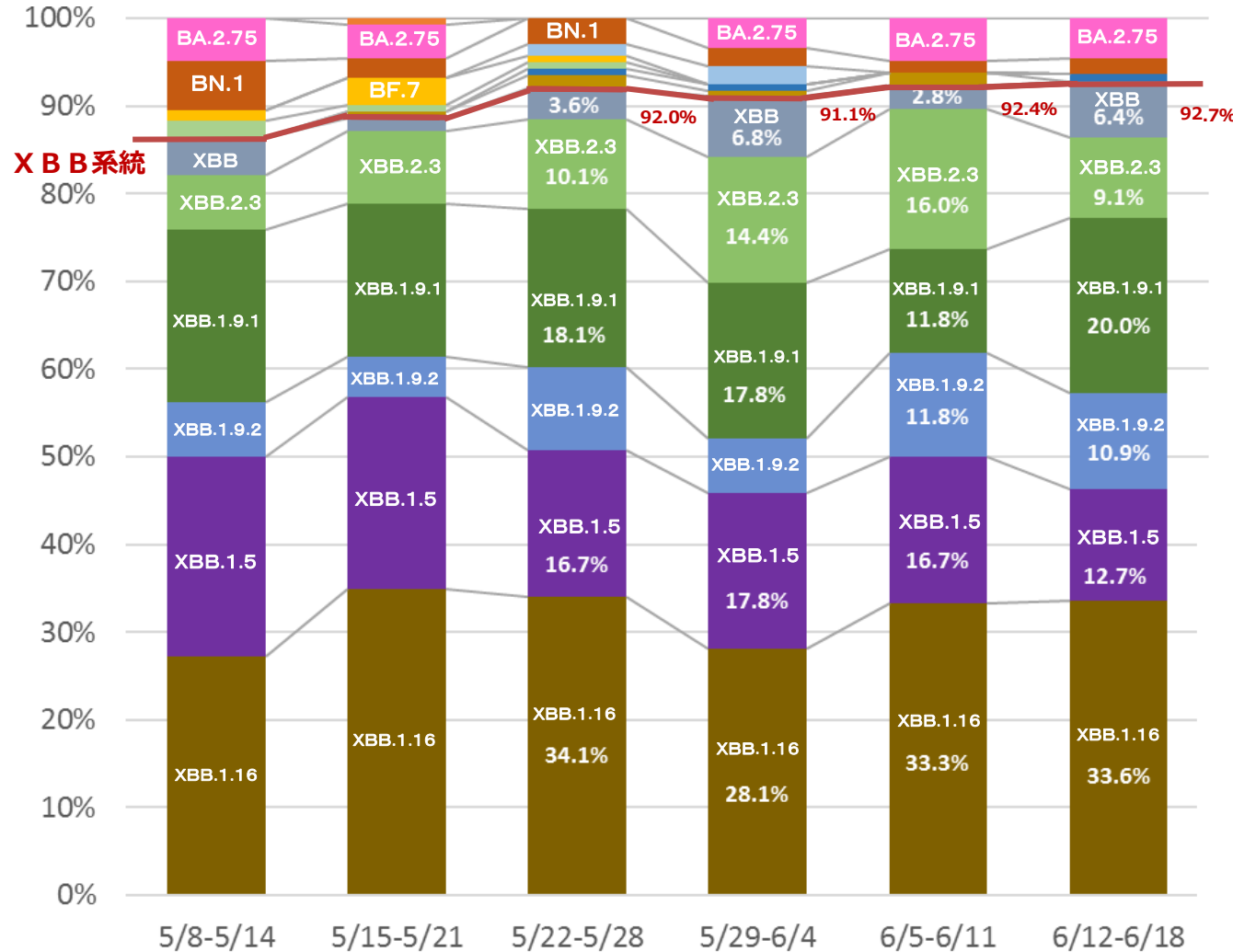
# ①-4 定点医療機関当たり患者報告数(保健所区域別、第26週 (6/26~7/2))



(注) 各保健所の定点医療機関から報告のあった患者数/各保健所の報告のあった定点医療機関数

# ⑤ 病原体サーベイランス（ゲノム解析）

（令和5年7月6日12時時点）



	6/5-6/11	6/12-6/18	増減	6/5-6/11 (実数)	6/12-6/18 (実数)
XBB.1.16 (XBBの亜系統)	33.3%	33.6%	→	48	37
XBB.1.9.1 (XBBの亜系統)	11.8%	20.0%	↑	17	22
XBB.1.5 (XBBの亜系統)	16.7%	12.7%	↓	24	14
XBB.1.9.2 (XBBの亜系統)	11.8%	10.9%	↔	17	12
XBB.2.3 (XBBの亜系統)	16.0%	9.1%	↓	23	10
XBB	2.8%	6.4%	↑	4	7
BA.2.75	4.9%	4.5%	→	7	5
BN.1 (BA.2.75の亜系統)	1.4%	1.8%	→	2	2
BQ.1.1 (BA.5の亜系統)	0.0%	0.9%	↗	0	1
BA.2	0.0%	0.0%	→	0	0
組換え体 (XBB以外)	1.4%	0.0%	↓	2	0
BF.7 (BA.5の亜系統)	0.0%	0.0%	→	0	0
BQ.1 (BA.5の亜系統)	0.0%	0.0%	→	0	0
BA.5	0.0%	0.0%	→	0	0

※ 都内検体の、過去6週に報告を受けた、ゲノム解析の実績(速報)

※ 追加の報告により、更新する可能性あり

※ BA.2とBA.2.12.1とBA.2.75とBN.1は別々に計上。BA.4とBA.4.6は別々に計上。BA.5とBF.7とBQ.1とBQ.1.1は別々に計上。XBB.1.5とXBB.1.9.1とXBB.1.9.2とXBB.1.16とXBB.2.3は別々に計上(XBBは左記以外のXBB系統)。(報告時点でのPango系統による)

※1.0%pt以上の増減 ↑ ↓  
0.5%pt以上の増減 ↗ ↘